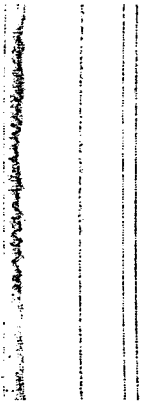
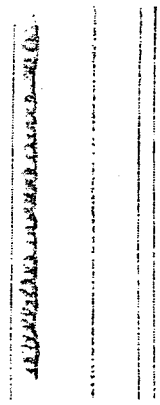


刃文の種類

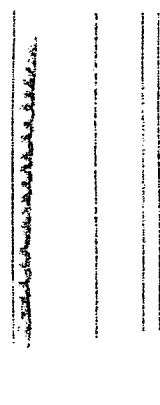
(平安末・鎌倉初)



直刃調小乱

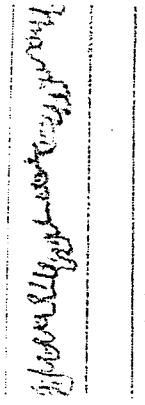


直刃小丁子

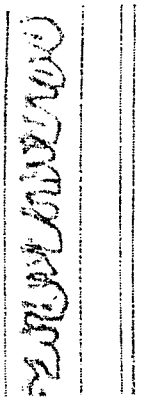


直刃調小互の目

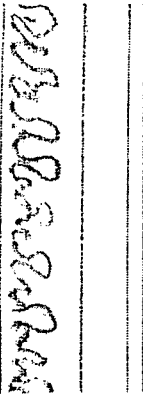
(鎌倉中期)



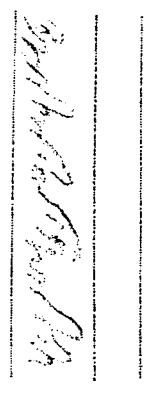
重花丁子



大房丁子

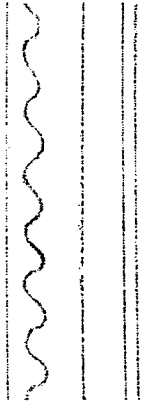


蛙子丁子

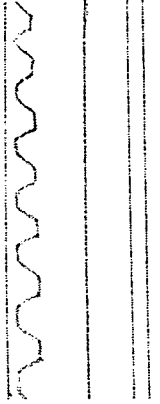


逆丁子

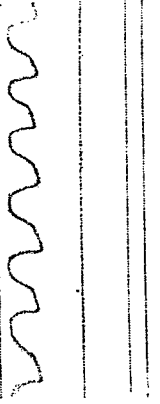
(鎌倉末期)



互の目

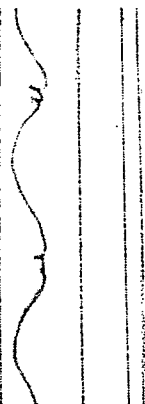


角張る互の目

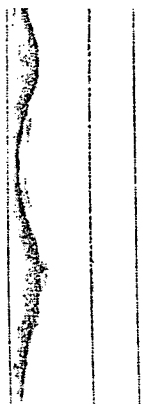


肩落互の目

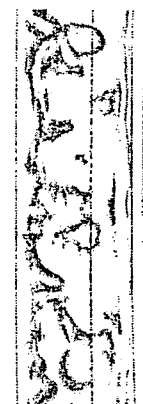
(南北朝)



た湾れ

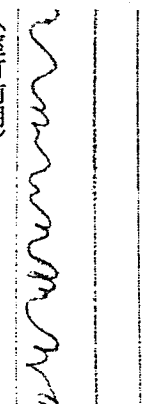


沸の強い湾れ



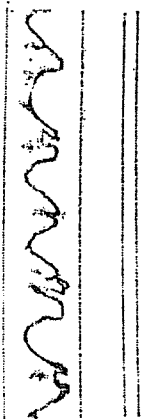
皆焼

(室町前期)

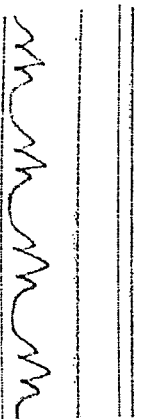


腰開き互の目に丁子乱

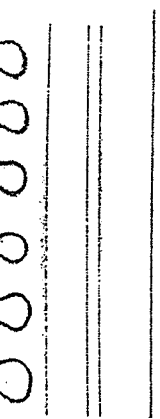
(室町後期)



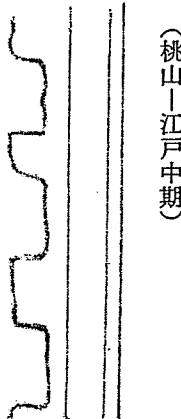
腰開き複式互の目



三本杉

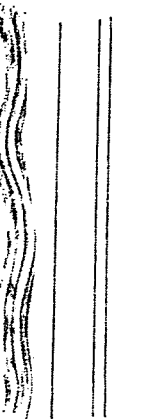


兼房乱れ
(互の目の変形)

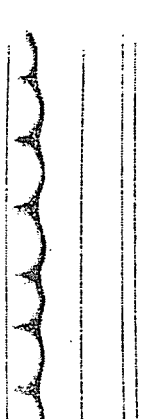


箱

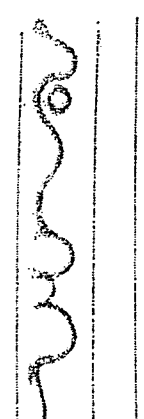
(桃山-江戸中期)



簾



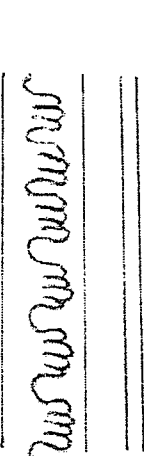
数珠刃



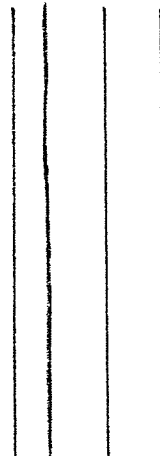
濤瀾刃

(地刃の働き)

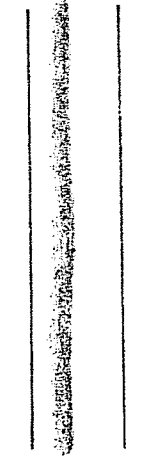
(江戸中期)



拳形丁子



匂のしまった直刃



匂の深い直刃

(各時代)

喰違刃

打のけ

二重刃

逆足

葉

小足

長い足

砂流し

金筋